

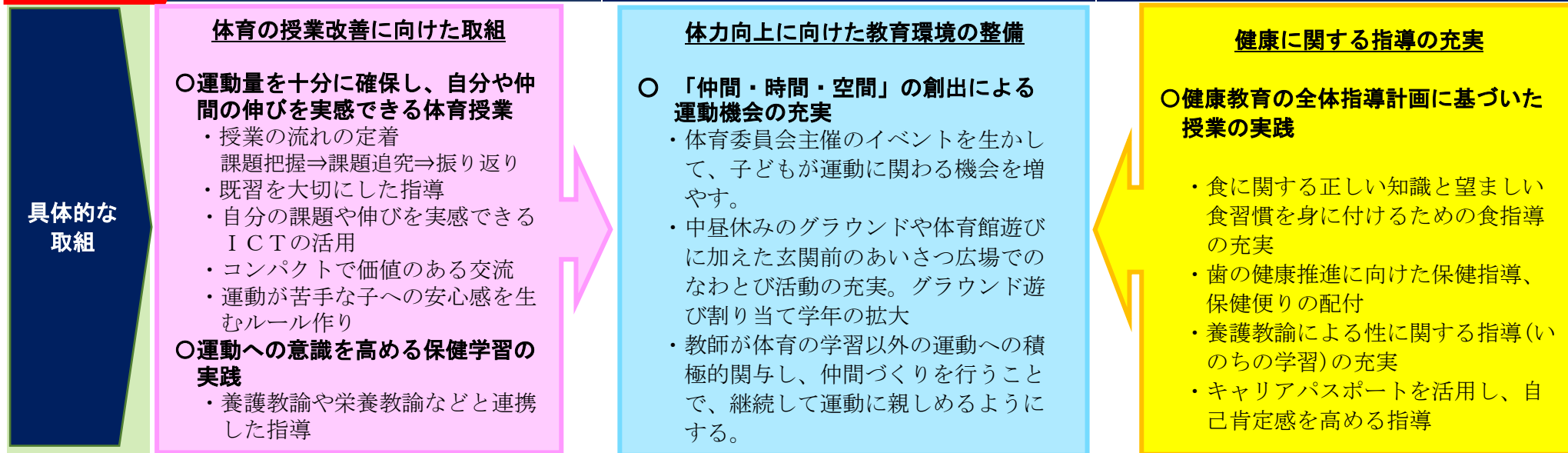
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24009

学校名：東札幌小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析	
体力・運動能力 <男子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均より上回っている種目 <ul style="list-style-type: none"> ・なし ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている <ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている <ul style="list-style-type: none"> ・立ち幅とび ○全国平均より下回っている種目 <ul style="list-style-type: none"> ・握力・上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン ・50m走・ソフトボール投げ 	反復横とびを除き、全国と比べ全ての種目で平均を下回っている。子どもの体力・運動能力を上げていくために体育の「体づくり運動」や準備活動で継続した取組が必要。さらに、目標を明確にすることで筋力・筋持久力・疾走能力・巧緻性・柔軟性・投力等を高めていく。
体力・運動能力 <女子>	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均より上回っている種目 <ul style="list-style-type: none"> ・反復横とび ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている <ul style="list-style-type: none"> ・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている <ul style="list-style-type: none"> ・握力・上体起こし・20mシャトルラン ○全国平均より下回っている種目 <ul style="list-style-type: none"> ・長座体前屈 	長座体前屈は、全国に比べ平均を下回っている。そのため、体育の「体づくり運動」や準備活動で体の柔軟性を高める取組を行うことが必要。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> ○「運動やスポーツを好き」と感じている子の割合 <ul style="list-style-type: none"> 男子…87.5% 女子…85% ○「体育の授業を楽しい」と感じている子の割合 <ul style="list-style-type: none"> 男子…92.7% 女子…90% 	○体育の授業以外で毎日60分以上運動している児童の割合は、全国平均に比べて男女ともに高い傾向にある。また、中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと回答している児童の割合が全国平均に比べ男女ともに高い傾向にある。	全国に比べ、体育の授業以外で毎日60分以上運動している児童の割合が高い傾向にあるよさがある。子どもがより運動やスポーツを好きと感じられるように自分に合ったペースで取り組むことで自己の伸びを実感できる体育授業を行う。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------



- | | |
|---------------------|--|
| 家庭・地域との連携・協働 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ レバンガ(バスケットボール)、コンサドーレ(バドミントン)などプロの選手の技術や考え方を学ぶ場の設定 ◇ 学校独自の児童アンケートや保護者アンケート等の活用 ◇ スキー学習と水泳学習におけるインストラクターによる実技指導 |
|---------------------|--|

